観光地域づくり法人形成･確立計画

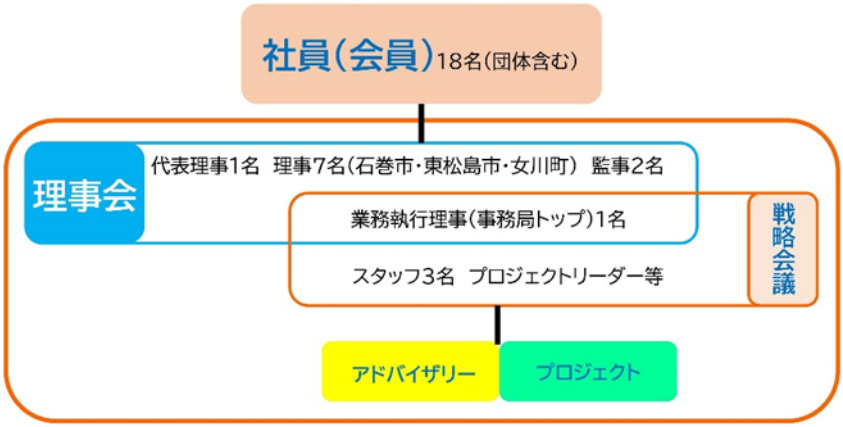
記入日：令和 7 年　7 月　29 日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）石巻圏観光推進機構	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 宮城県石巻市、東松島市、女川町	
所在地	宮城県石巻市	
設立時期	2017 年 4 月 3 日	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	4 人【常勤 4 人（正職員 4 人）】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 後藤　宗徳 （出身組織名） （一社）石巻観光協会	（一社）石巻観光協会の会長、元石巻商工会議所副会頭等、地域の様々な取組で重要な役割を担い成果を挙げている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 山内　千代文「専従」	法人設立後、マーケティング担当とし、観光地域マーケティングについて研鑽を積んできている。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 斉藤　雄一郎「専従」 （出身組織名） 大日本住友製薬（株） 石巻市	平成２５年１０月、石巻市へ復興支援専門員として大日本住友製薬㈱から出向、秘書広報課、観光課で勤務。 石巻圏ＤＭＯ設立に携わり、設立後は業務執行理事として、事業の執行、財源確保の為、行政、観光関連団体等との関係を構築している。
各部門（旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 大平　篤士「専従」 （出身組織名）（一社）涌谷町地域振興公社	涌谷町の観光施設「わくや万葉の里 天平ろまん館」等で営業職を担当。培ったネットワークで商品造成・販売を担い成果を挙げている。

様式１

<table>
<tr><td>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</td><td>石巻市産業部観光政策課（データ収集・分析、活動実績の確認、事業連携）
東松島市産業部商工観光課（データ収集・分析、活動実績の確認、事業連携）
女川町産業振興課（データ収集・分析、活動実績の確認、事業連携）
宮城県東部地方振興事務所（事業連携）</td></tr>
<tr><td>連携する事業者名及び役割</td><td>東北学院大学、石巻専修大学（地域住民への啓発を目的としたシンポジウム開催・データ収集・分析）
石巻観光協会、東松島観光物産公社、女川町観光協会（プロモーション、事業連携）
地域事業者（コンテンツ開発、提供）
石巻商工会議所、石巻商工会、東松島市商工会、女川町商工会（商品造成）
JA 石巻（商品造成）
石巻青年会議所（商品造成）
㈱ミヤコーバス 石巻営業所（二次交通、商品造成）
宮城県タクシー協会石巻支部（二次交通、商品造成）
東日本旅客鉄道㈱ 東北本部 石巻駅（商品造成）
網地島ライン、潮プランニング、金華山航路事業協同組合（商品造成）
鮎川まちづくり協会（商品造成、事業連携）
街づくりまんぼう（商品造成）
いしのまきスポーツコミッション（商品造成）</td></tr>
<tr><td>官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</td><td>【該当する登録要件】①
①理事として、石巻市、東松島市、女川町の行政幹部、各観光協会代表（宿泊、交通）、監事として街づくりまんぼう（TMO）、大学講師（マーケティング専攻）が参画し、観光地域づくりの合意形成を図っている。</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>・サイクルツーリズム推進にあたり、地域でサイクリストを迎え入れる無料休憩場所「サイクルステーション」設置に参画する仕組みを構築。
・外国人観光客受入環境整備、おもてなし意識醸成を目的として、地域住民、事業者を主体とした「街なかインバウンド推進ネットワーク」を組織し、課題解決に努めている。
・地域の事業者の生業と観光を繋げた体験商品の造成、販売。
・石巻エリアファンクラブを設立し地域事業者に協力店として参画いただき、関係人口の拡大を図っている。
・捕鯨文化、鯨食文化の継承・普及啓発を図ることを目的に開催された、「全国鯨フォーラム 2021 石巻」に合わせ、行政と連携し市民向けに、地域の食文化、地域の魅力を再発見する「鯨探訪ツアー」を実施した。
・東北学院大学と連携し、南オーストラリア大学から観光学の国際的研究者を迎え、地域住民向けシンポジウム「観光学を学ぶ国際シンポジウム in 石巻市 持続可能で信頼される観光地の構築に向けて―海外研究者からの提言―」を実施した。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>･2017 年度からの継続事業として
・公式 Web サイト「海街さんぽ」、各 SNS にて圏域の観光情報を戦略的に発信
・サイクリスト向け専門 Web サイト「海街ライド」、各 SNS にて圏域のサイクルルート等を戦略的に発信</td></tr>
<tr><td>受入環境の整備</td><td>･2017 年度からの継続事業として
・サイクリスト受入れの為、圏域内でサイクルステーションの設置
・圏域内での二次交通の充実化を図るため共通のレンタサイクル貸出システムの構築・運用</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

		･2021 年度石巻圏 SDGs 勉強会事業 ・教育旅行受入れ側のコンテンツプレーヤーと SDGs について理解を深める ･2021 年度からの継続事業として ・石巻エリアファンクラブを設立し交流人口の活性化を図る
	観光資源の磨き上げ	･2017 年度からの継続事業として ・着地型観光商品の造成、販売 ･2020 年度コロナ禍において ・オンライン商品の開発・販売 ･2022 年度インバウンド受入れ事業
	【定量的な評価】 ＷＥＢサイトのアクセス状況を確認し地域や、観光コンテンツに対する顧客の関心度や施策の効果等を把握に努めている。	
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	**【実施体制の概要】** （一社）石巻圏観光推進機構を設立し、社員には、石巻市、東松島市、女川町の行政、商工会議所、青年会議所など多様な関係者が参画。理事には、2 市 1 町の行政幹部、観光協会の代表で構成し官民が密接に連携した運営を実施。 事業により、地域事業者を主体としたプロジェクトを組織し事業の推進にあたる。 また、必要に応じ外部アドバイザーに協力を求める。 **【実施体制図】**  	

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

様式１

【区域設定の考え方】

石巻圏（石巻市、東松島市、女川町）は、宮城県牡鹿半島を核に三陸海岸の最南端に位置し豊かな自然と歴史に彩られた地域である。特に金華山沖では黒潮と親潮がぶつかることから世界に著名な漁場となっており、全国でも有数の水産加工業が特色となっている。

また、東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するために、三陸復興国立公園が平成 25 年５月に創設され、みちのく潮風トレイルのコースが設置されている。

当圏域は平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災での壊滅的な被害から、これまでの市町単位の取組を見直し、新たな連携や事業内容を再構築する取組が進められている。

特に、圏域が一体となった「観光振興」を通して、住民がこれまで受け継いできた「海とともに生きる文化、歴史、自然との共生の知恵」といった地域の魅力を高め、さらに「地域の復興を住民と共に支えてきた、延べ 40 万人以上のボランティアの方々との絆」を深めながら、多くの観光客が住民との交流を通して豊かな時間を過ごす石巻圏観光を推進することによって、地域のさらなる発展を目指す。

【観光客の実態等】

※設定区域における観光客入込客数、延べ宿泊者数、消費額等を踏まえて記入すること。

様式１

項目		2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度	2025（R7）年度	2026（R8）年度	2027（R9）年度
旅行消費額（百万円）	目標	―（―）	56,175（―）	73,000（140）	74,000（150）	75,000（150）	75,000（150）
	実績	56,293（―）	72,181（131）	54,727（110）	―	―	―
延べ宿泊者数（千人）	目標	300（―）	350（―）	370（4）	390（4）	400（4）	400（5）
	実績	311（1）	353（3）	379（4）	―	―	―
来訪者満足度（%）	目標	70（―）	70（―）	70（85）	70（85）	85（85）	85（85）
	実績	52（―）	67（84）	83（95）	―	―	―
リピーター率（%）	目標	62（―）	65（―）	75（―）	75（10）	55（11）	60（12）
	実績	50（―）	51（―）	54（―）	―	―	―

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

	石巻市	東松島市	女川町
温泉	上品の郷ふたごの湯（道の駅「上品の郷」内） 石巻天然温泉　元気の湯	矢本温泉（東松島市健康増進センター「ゆぷと」内）	女川温泉　華夕美 女川温泉　ゆぽっぽ
寺社仏閣	零羊崎神社 大嶋神社（住吉神社） 金華山黄金山神社 釣石神社（合格祈願） 鹿島御子神社 羽黒山鳥屋神社	薬師堂（薬師山） 医王寺 新山神社	久須師神社（江島） 栄存神社（江島） 羽黒神社（尾浦） 熊野神社（鷲神） 白山神社（女川） 三国神社（大六天山） 八雲神社（出島） 巌島神社（寺間）

様式１

歴史文化	金華山道、金華山詣（日本遺産みちのく GOLD 浪漫） 石井閘門（国指定有形文化財、日本最古のレンガ造り西洋式閘門で、可動ゲートを持つ） 持福院観音堂・木造十一面観音像（県指定有形文化財） 齋藤氏庭園（宝ヶ峯縄文記念館） 住吉公園 旧石巻ハリストス正教会教会堂 一皇子社（御所裏） 石巻市博物館 おしかホエールランド 石巻南浜津波復興祈念公園 みやぎ東日本大震災津波伝承館 石巻市震災遺構門脇小学校 石巻市震災遺構大川小学校 石ノ森萬画館 宮城県慶長使節船ミュージアム 雄勝硯伝統産業会館（道の駅硯上の里おがつ） 金華山灯台（有形文化財） 石巻魚市場（最も長い魚市場としてギネス認定）	史跡里浜貝塚（国指定文化財） 奥松島縄文村歴史資料館 小野館跡（お館山公園） 野蒜築港跡（日本初の西洋式港湾） 月浜「えんずのわり」（国指定文化財） 大曲浜獅子舞（市指定文化財） 鹿妻の獅子踊り（市指定文化財） 大塚神楽 柳の目獅子舞 鳴瀬鼓心太鼓 八鷹神輿 小町石 大槻俊齋 後藤桃水 富田鐵之助 鳴瀬流灯会（りゅうとうえ） 東松島市東日本大震災復興祈念公園 東松島市震災復興伝承館 史跡赤井官衙遺跡群（国指定文化財） 医王寺薬師堂（市指定文化財）	江島法印神楽（県指定無形民俗文化財） 三十三観音碑 有形文化財 補陀閣内部 有形文化財 波切不動尊 出島配石遺構群 方孔石／江島（仙台藩士の流刑地） 女川町震災遺構旧女川交番 道の駅おながわ

様式１

自然	景観	田代島（「猫の島」『猫神社』国土交通省『島の宝100景） 金華山 神割崎自然公園 日和山公園 県立自然公園　旭山 おしか御番所公園景観 牧山　市民の森 イヌワシの繁殖地（国指定天然記念物） 八景島暖地性植物群落（国指定天然記念物） 北上川のヨシ原 みちのく潮風トレイル	松島四大観「大高森」 日本三大渓「嵯峨渓」（遊覧船） 滝山公園（桜、ブルーインパルス、震災慰霊碑） お館山公園（桜） 新宮戸八景（さとはま縄文の里史跡公園、大高森、嵯峨見台、儀兵衛・多十郎記念碑の丘、大浜唐船番所跡・新浜岬、稲ヶ崎公園） 月観の松（県指定文化財） 新山神社姥杉（県指定文化財） 滝不動尊の欅（市指定文化財） むろの木（市指定文化財） 宮戸島のセッコク（市指定文化財） 野蒜海岸 野鳥（ミサゴ、白サギ、白鳥・カモ） 特別名勝松島（国指定文化財） 大塩小学校の高野槙（市指定文化財） 高松寺のイチョウ（市指定文化財） 医王寺のカヤ（市指定文化財） 医王寺のイチョウ（市指定文化財） 定林寺のイチョウ（市指定文化財） みちのく潮風トレイル	陸前江島のウミネコ及びウトウ繁殖地（国指定天然記念物） 笠貝島の球状班れい岩（県指定天然記念物） 塚浜のタブノキ／塚浜のヒサカキ（町指定天然記念物） 三十三観音の大杉（町指定天然記念物） 安野平（女川の名由来の地） みちのく潮風トレイル	
	海	綱地白浜海水浴場 荒浜海水浴場 白浜海水浴場 十八成浜海水浴場 渡波海水浴場	月浜海水浴場 日本の渚百選「奥松島」 世界で最も美しい湾クラブ日本初加盟「松島湾」 野蒜海岸、月浜海岸、大浜海岸、室浜海岸	女川湾（ダイビングスポット）、女川町海岸広場	
	山	トヤケ森山（馬っこ山） 上品山	宮城オルレ　奥松島コース しま百名山「大高森」 滝山	大六天山 黒森山・石投山	
	川	北上川（新・旧） 北上運河	鳴瀬川、吉田川 北上運河、東名運河（貞山運河を加え長さ日本一の運河群）		
食	海産物	牡蠣（ASC 認証）、金華さば、金華かつお、金華ギン、ほや、鯨肉、べっこうシジミ、穴子、ワカメ	牡蠣、海苔、鮭、ワタリガニ、アワビ、ウニ、シャコ、スクモガニ	銀鮭、さんま、ほや、いか、ほたて、牡蠣	

	農作物	河北せり、ガーベラ、パプリカ、いちご 希少品種となり、全国シェアのほとんどを占めるササニシキ 糖度と酸味のバランスを兼ね備えた高糖度トマト、オリーブ、鹿肉（ジビエ）	米「かぐや姫」、ちぢみほうれんそう、トマト、きゅうり、いちご、ねぎ、しそ、とうもろこし「味来（みらい）」、大豆	

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

	石巻市	東松島市	女川町
客室数（室）	1,669	588	366
収容人数（名）	2,507	1007	660
施設数	53	14	14
ホテル	2	2	5
ビジネスホテル	21	2	0
旅館	8	2	4
民宿	22	6	5
民宿（長期のみ）	0	0	0
他	0	2	0

【利便性：区域までの交通、域内交通】

石巻市	東松島市	女川町
・JR 仙石線 仙台駅⇒石巻駅（約 80 分） ・JR 仙石東北ライン（快速） 仙台駅⇒石巻駅（約 60 分） ・JR 石巻線 小牛田駅⇒石巻駅（約 40 分） ・自動車 三陸自動車道 石巻河南 I.C、石巻女川 I.C ・高速バス（ミヤコーバス） 仙台～石巻便　（約 90 分）	・JR 仙石東北ライン 仙台駅⇒野蒜駅(約 35 分) 野蒜駅⇒矢本駅(約 10 分) 矢本駅⇒石巻駅(約 15 分) ・JR 仙石線 仙台駅⇒野蒜駅(約 50 分) 野蒜駅⇒矢本駅(約 10 分) 矢本駅⇒石巻駅(約 15 分) ・自動車 三陸自動車道 鳴瀬奥松島 I.C 三陸自動車道 矢本 I.C 三陸自動車道　石巻港 I.C	・JR 石巻線 石巻駅⇒女川駅（約 30 分） ・自動車 三陸自動車道 石巻河南 I.C、石巻女川 I.C

圏域内の駅一覧

市町名 / 路線名	石巻市	東松島市	女川町
	13 駅	8 駅	2 駅
仙石線	石巻、陸前山下、蛇田、石巻あゆみ野	陸前赤井、東矢本、矢本鹿妻、陸前小野、野蒜、東名、陸前大塚	

	石巻線	前谷地、佳景山、鹿又、曽波神、石巻、陸前稲井、渡波、万石浦、沢田		浦宿、女川
	気仙沼線	和渕、前谷地		

【外国人観光客への対応】
・クルーズ船入港時受入対応（シャトルバス、バスツアー、体験プログラムなど）
・農林水産省の「農泊 食文化海外発信地域」（SAVOR JAPAN）の認定を受け、石巻圏の食と、それを生み出す農林水産業を核として訪日外国人の誘致を図る地域として、農林水産省及び関係府省庁を通じ、世界に向けて発信し、滞在を伴うインバウンド需要を取り込む。
・地域事業者・住民を対象に、インバウンド受入れ環境整備の重要性等に関する研修会を開催
・B to B向けにインバウンド対応のプラン７商品を新たに造成。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域や、観光コンテンツに対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	Google Analytics を活用して実施。
延べ宿泊者数	長期滞在の促進	・宮城県観光統計概要（暦年）により把握 ・宿泊施設との連携により、宿泊施設単位で利用者数を把握･分析することも検討中。
旅行消費額	観光産業収益の拡大	・主要観光施設等において、定期的に来訪者に対する聞き取り調査やアンケート調査を実施することにより把握 ＜調査項目例＞ 圏域内での概算消費額（宿泊費・土産代・交通費・食費別など） （⇒観光消費額単価の把握）
来訪者満足度	顧客満足の最大化	・主要観光施設等において、定期的に来訪者に対する聞き取り調査やアンケート調査を実施することにより把握 ＜調査項目例＞ 項目別（宿泊、交通、食事など）満足度５段階評価等
リピーター率	顧客から得られる利益の最大化	・主要観光施設等において、定期的に来訪者に対する聞き取り調査やアンケート調査を実施することにより把握 ＜調査項目例＞ 訪問回数（⇒リピーター率の把握）
観光客入込数	仙台圏等からの日帰り観光客の動向を把握し、今後の観光施策に反映させるため	・宮城県観光統計概要（暦年）により把握

2市1町以上の周遊率	圏域内での周遊を促進するため	・主要観光施設等において、定期的に来訪者に対する聞き取り調査やアンケート調査を実施することにより把握

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

当エリアは東日本大震災最大の被災地であり、震災の影響と少子高齢化により、厳しい人口減少の局面にある。地方創生を実現するため、人口流出の抑制に加え、居住地としての地域の仕事を創出し、戦略的に観光分野を強化する。
ＤＭＯと行政、地域事業者と連携し、既存の観光の枠を超えた、新たな価値を生み出す事業の創出を目指す。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	**強み（Strengths）** ・豊かな自然環境や文化・歴史などを活かした多彩な観光資源 ・ツール・ド・東北、リボーンアートフェスティバルといった全国規模の集客イベントやオンリーワンの地域資源であるブルーインパルスの存在 ・豊かな海の恵み。海とつながる生活文化 ・震災遺構や語り部ガイドといった震災防災教育・ツーリズムに不可欠な資源の存在 ・地域のイベントや伝統的な祭事 ・高い観光客の再訪意向 ・震災を契機としたＮＰＯ等の市民活動の高まり、いわゆる「ヨソ者」「若者」の活躍 ・世界三大漁場の一つ、金華山沖と沿岸部の三陸リアス海岸からの豊かな海の恵み ・北上川流域の肥沃な耕土を活かしたササニシキなどの生産 ・近代的な植物工場で栽培されるトマト、パプリカ ・（外国人）観光客にとって魅力的な猫島の田代島 ・復興祈念公園等の震災伝承施設が整備 ・集客力の高い道の駅（上品の郷、硯上の里おがつ、おながわ、東松島） ・圏域が「みちのく潮風トレイル」のコースとなっている ・サイクルツーリズム、釣り、SUP などアドベンチャーツーリズムのコンテンツが豊富	**弱み（Weaknesses）** ・２次交通アクセスの不足による域内移動の困難さ ・既存の観光資源の活用不足 ・観光に関わる専門人材の育成が不十分 ・食・土産品の魅力磨き上げの不足 ・宿泊施設・観光拠点の不足 ・外国人受入れ体制、受け入れ意識が不十分 ・域内の行政・事業者・ＮＰＯ等観光に携わる者同士の連携の不足 ・情報発信不足 ・スキー場、温泉など冬期間の観光資源の不足 ・観光 DX 対応の遅れ。

様式１

	機会（Opportunity）	脅威（Threat）
外部環境	・交通網の復旧と利便性の向上（三陸自動車道４車線化・ＪＲ女川直通乗り入れ） ・国・県による観光立国の実現に向けた取り組み ・観光ニーズの変化、体験型観光、被災地での防災学習・研修等の教育型観光ニーズの高まり ・仙台市や松島などに近い立地条件 ・みちのく潮風トレイルの活用が「観光立国推進基本計画」に明記された。 ・宮城オルレ奥松島コースの認定 ・石巻市雄勝、女川町に道の駅が誕生 ・世界の持続可能な観光地 Top100 選への選出 ・ベストルーリズムビレッジ 2023 に選出（東松島市） ・仙台空港国際線再開、大型外国客船の来港（石巻市） ・スポーツコミッションの設立（石巻市） ・日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」に「金華山詣」「金華山道」が追加認定（石巻市） ・訪れてみたい日本のアニメ聖地 88 に認定（石巻市）	・景気低迷や震災による安全性への懸念 ・人口減少・少子高齢化社会の到来 ・他観光圏とのシェア争奪 ・震災からの時間経過に伴う「被災地」への関心の薄れ、震災の記憶の風化 ・復興関連関係者の減少 ・既存観光施設に対する顧客離れ ・震災による風評被害の継続 ・三陸沿岸道路全線開通により、石巻圏を通過する車両の増加

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層（国内）
首都圏、北関東を中心とした、２０～３０代のカップル・友人

〇選定の理由
・市場規模が大きく、メディア接触機会が多く、流行発信地であり、首都圏からの誘客が増えると、周辺地域へ需要が派生しやすい。
・若年層における日本文化回帰により、社寺や歴史への興味関心の高まり。
・「親しい人と一緒に旅先で体験する」時間を大切にする志向を持ち、サイクリングなどの体験や地域との触れ合いを求める層である。
・コロナ禍以降、働き方や暮らし方に多様性が生まれ、地方と都市を行き来する「二拠点生活」や、地域との継続的な関わりを持つ「関係人口」の創出が注目されており、適度に都市機能と自然が調和した石巻圏は、こうした新しいライフスタイルの拠点として適している。

〇取組方針
観光動態調査などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。
・イベント、体験、防災観光など
・「二拠点居住」や「関係人口」創出につながる滞在環境・地域交流の機会づくりの整備

〇ターゲット層（国内）
仙台圏

〇選定の理由
・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うマイクロツーリズムにより、獲得できた仙台圏の観光客のリピーター化を図る。（仙台から約 60 分）

〇取組方針

・石巻圏は、仙台圏にはない豊かな自然と、世界三大漁場として、四季を通じ多種多様な水産資源に恵まれている。 ・石巻圏のアウトドアアクティビティー、食を発信、ツアーや体験プログラムを造成し誘客を図る。
○ターゲット層（海外） ①台湾、②欧米豪、③タイ、ベトナム等
○選定の理由 ①台湾: ・ 日本リピーターが多く、日本の旅行情報接触頻度が高いほか、地方部への来訪が増加している。 ・仙台空港に定期便が就航している。 ・サイクリング・ポタリングファンが多い。 ②欧米豪： ・日本文化に対する観光ニーズ強い。 ・長く日本に滞在するため、地方部への誘客可能性が期待される。 ・東京、京都、高山などの観光地を済ませた“まだ知らない日本を見たい”層が生まれている。 ③タイ、ベトナム等 ・急速な個人旅行化。 ・英語を話せる人の比率が高く、個別言語対応の必要性が低い。 ○取組方針 唯一性の高いスポットである離島（金華山、田代島）への誘客を訴求できるコンテンツを造成、磨き上げ、OTA、インバウンドベンチャーに対し、B to B プロモーションを展開する。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	海に育まれた豊かな文化と生業が織りなす、変わらない懐かしさといつも新しい驚き・発見がここにある。
②コンセプトの考え方	石巻圏を語るのに「海」は外せない。しかし、自然資源がこの土地の豊かさの本質ではなく、紡がれてきた歴史や産業、まちの景観などの生活文化こそが価値であり、ひとの力こそが、そのまちの価値を次世代につないでいくことを可能とする。 さらに、都市圏から訪れるひとにとっては昔の風景のように懐かしく、しかしいつでも新しいチャレンジを通じて季節ごと、場所ごとにその顔を変える驚きを提供できる土地であることで、何度でも訪れる価値のある観光地になることを目指す。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	①石巻圏観光担当者連絡会（1 回/年） ②二市一町観光担当者連絡会（6 回/年） ③理事会（3～4 回/年） ④まちなかインバウンド推進ネットワーク（3 回/年）
	①ＤＭＯを中心として、県、２市１町の行政、観光協会が集まり、石巻圏の観光動態、KPI の達成状況を報告し、戦略の共有。

	②ＤＭＯを中心として、２市１町の行政が集まり、石巻圏の観光動態、KPI の達成状況を報告し、戦略の共有。 ③理事会メンバーである、２市１町の行政、観光協会、宿泊、交通事業者、NPO 等との観光戦略の共有、進捗状況の共有 ④事務局としてＤＭＯが参画し、インバウンド受入に積極的な事業者、住民と、外国人観光客受け入れ環境整備戦略を共有。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	・当法人が継続的に収集する各種データ等に基づき、事業実施効果の評価、ならびにデータ分析を行い、分析結果の共有を図り、改善項目等について検討を行うことで、実施事業の質的向上を図る。 ・地域事業者とコンテンツ開発、既存コンテンツの磨き上げを行い、当法人ホームページ等を通じて情報発信し販売を行う仕組みを構築している。 ・石巻圏でのレンタサイクル貸出・返却システムを各観光協会と構築し運用するとともに、貸出拠点の拡充を図っている。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	・ホームページを通じ、２市１町の観光コンテンツ等の情報を一元的に発信し、コンシェルジュ機能を設け、旅のプラン、予約をワンストプで実施している。 ・石巻エリアファンクラブを通じ、関係人口拡大に繋がる戦略的情報発信を行っている。 ・圏域の教育旅行に関する相談、受入のワンストップ窓口としてコーディネートしている。 ・ＳＮＳを活用した戦略的プロモーションを実施している。 ・冬の観光客減少に対し、JA、飲食店と連携し食のキャンペーンを実施し、誘客プロモーションを実施。 ・3 市町行政、観光協会と連携し、サイクルツーリズム推進のプロモーション、地域特性を活かしたサイクルイベント等を開催している。 ・石巻圏のキャッチコピーをデザインしたノベルティ、石巻圏の周遊を促す、パンフレットを制作し、統一プロモーションを展開している。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（百万円）	目標	—	56,175	73,000	74,000	75,000	75,000
		(—)	(—)	(140)	(150)	(150)	(150)
	実績	56,293	72,181	54,727			
		(—)	(131)	(110)			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	300	350	370	390	400	400
		(—)	(—)	(4)	(4)	(4)	(5)
	実績	311	353	379			
		(1)	(3)	(4)			
●来訪者満足度（%）	目標	70	70	70	70	85	85
		(—)	(—)	(85)	(85)	(85)	(85)
	実績	52	67	83			
		(—)	(84)	(95)			
●リピーター率（%）	目標	62	65	75	75	55	60
		(—)	(—)	(—)	(10)	(11)	(12)
	実績	50	51	54			
		(—)	(—)	(—)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
従来、県観光統計として、宿泊者数、入込客数のみの把握であったが、当法人設立を機に 2017 年度より、石巻圏（石巻市、東松島市、女川町）において、各種データを収集し、必須 KPI として設定し、今後の観光戦略に活用することとした。また、2023 年より外国人に対するアンケートを実施し、データ収集を開始した。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
調査地点を設定し、街頭面接法及び、留置法によるアンケート調査より算出する。
観光行動で支払う金額（施設利用料、体験プログラム・イベント参加料等）を高める為、付加価値を付け、顧客の満足度を高め、滞在時間延長の取り組みを推進する。
●延べ宿泊者数
宮城県観光統計調査より算出する。
宮城県内客の 7 割が日帰り観光であり、朝、夜の時間帯の魅力のあるコンテンツ整備促進を図り、宿泊に結び付ける。
●来訪者満足度
調査地点を設定し、街頭面接法又は、留置法によるアンケート調査より算出する。
CS ポートフォリオ分析結果の優先改善項目である「域内のイベント内容」「物産の内容・品揃え」、「エリア内で体験したプログラム」「観光情報の内容や入手のしやすさ」について、引き続き取り組む。

●リピーター率
調査地点を設定し、街頭面接法又は、留置法によるアンケート調査より算出する。
男女とも年齢があがるにつれリピート率が上がる傾向にある。また、40 代から 50 代女性の再来訪意向が高い。これらターゲットに対し、戦略的にプロモーションを実施する。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●Web サイトのアクセス状況【回】	目標	30,000	35,000	350,000	350,000	350,000	350,000
		(―)	(―)	(30,000)	(30,000)	(40,000)	(40,000)
	実績	310,967	308,484	319,845			
		(9,691)	(26,747)	(38,563)			
●3 市町の周遊率【%】	目標	8	9	11	11	11	11
		(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
	実績	11.3	9.1	5.3			
		(―)	(―)	(―)			
●観光客入込数【千人】	目標	4,000	5,350	6,500	6,500	6,500	6,500
		(―)	(―)	(―)	(―)	(―)	(―)
	実績	5,367	6,368	6,378			
		(―)	(―)	(―)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
石巻圏（石巻市、東松島市、女川町）において、指標項目のデータを保有していなかった。当法人の設立を機に、各種データを収集し、活動の評価指標として設定し、今後の観光戦略に活用することとした。

【設定にあたっての考え方】
●観光客入込数
石巻圏域定住自立圏共生ビジョンに基づき設定し、各市町の調査結果より算出する。
●3 市町の周遊率
調査地点を設定し、街頭面接法又は、留置法によるアンケート調査より算出する。
周遊することで地域をより深く楽しめるモデルルートを市場に訴求し、「石巻圏を巡って遊ぶ」観光スタイルを浸透させる。
●Web サイトの閲覧回数
情報の質、更新頻度を高め認知度を上げ、Web マーケティングを展開する。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

様式１

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	34,118,000（円）	【補助金】4,000,000 【市町村からの負担金】21,000,000 【収益事業】9,118,000
2023（Ｒ５）年度	51,954,000（円）	【国市町村からの負担金・補助金】37,629,000 【収益事業】14,325,000
2024（Ｒ６）年度	37,230,000（円）	【国市町村からの負担金・補助金】26,365,000 【収益事業】10,865,000
2025（Ｒ７）年度	45,911,000（円）	【国市町村からの負担金・補助金】22,000,000 【収益事業】23,911,000
2026（Ｒ８）年度	46,000,000（円）	【国市町村からの負担金・補助金】22,000,000 【収益事業】24,000,000
2027（Ｒ９）年度	46,500,000（円）	【国市町村からの負担金・補助金】22,000,000 【収益事業】24,500,000

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	37,083,000（円）	【一般管理費】21,000,000 【公益事業】4,548,000 【収益事業】11,535,000
2023（Ｒ５）年度	54,026,000（円）	【一般管理費】8,788,000 【事業費】45,238,000
2024（Ｒ６）年度	37,044,000（円）	【一般管理費】8,776,000 【事業費】28,268,000
2025（Ｒ７）年度	49,714,000（円）	【一般管理費】6,371,000 【事業費】43,343,000
2026（Ｒ８）年度	46,500,000（円）	【一般管理費】6,500,000 【事業費】400,000,000
2027（Ｒ９）年度	46,500,000（円）	【一般管理費】6,500,000 【事業費】400,000,000

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

石巻市、東松島市、女川町から一定の財政支援を受けながら、収益事業として、旅行商品、イベント・体験商品造成・販売、地場産品の EC 販売、受託事業により、自主財源比率を上げ、安定的な経営を目指す。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

石巻市、東松島市、女川町は、石巻圏における観光地域づくり法人（地域連携ＤＭＯ）としての活動に期待します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

東松島市が重複する株式会社インアウトバウンド東北（マネージメント対象区域：仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町）とは、日ごろから情報を共有し、協同できる部分で連携を図っている。

【区域が重複する背景】

石巻市を中心として地域住民の生活・経済活動等の交流がある石巻圏（石巻市、東松島市、女川町）に「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟した松島湾を有する東松島市（他市町：塩釜市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町、松島町）が含まれるため重複する。

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

株式会社インアウトバウンド東北は、インバウンドを主体に事業を展開している。
当法人は、石巻圏としてサイクルツーリズムをはじめとする観光振興を図っている。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

インバウンド受入れにおいては東松島市だけで完結するものではなく、さらなる地域の魅力として石巻市、女川町の観光資源を提供し、松島湾を巡るインバウンドツアーに石巻市にある離島の霊場を加えてスピリチュアルなインバウンド商品を造成するなど効率的な活動を遂行している。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	斉藤　雄一郎
担当部署名（役職）	業務執行理事
郵便番号	９８６－０８２２
所在地	宮城県石巻市中央二丁目１１－２１
電話番号（直通）	０２２５－９８－８２８５
ＦＡＸ番号	０２２５－９６－８０１９
Ｅ－ｍａｉｌ	info@umimachi-sanpo.com

様式１

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	宮城県石巻市
担当者氏名	吉田　光佑
担当部署名（役職）	産業部観光政策課　主任主事
郵便番号	９８６－８５０１
所在地	宮城県石巻市穀町１４番１号
電話番号（直通）	０２２５－９５－１１１１　内線３５３７
ＦＡＸ番号	０２２５－９６－１０２３
Ｅ－ｍａｉｌ	issightsee@city.ishinomaki.lg.jp

都道府県･市町村名	宮城県東松島市
担当者氏名	浅野　紗都美
担当部署名（役職）	産業部商工観光課　係長
郵便番号	９８１－０３０３
所在地	宮城県東松島市小野字新宮前５番地
電話番号（直通）	０２２５－８２－１１１１　内線２１６４
ＦＡＸ番号	０２２５－８７－３８０４
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@city.higashimatsushima.miyagi.jp

都道府県･市町村名	宮城県女川町
担当者氏名	平坂　麻耶
担当部署名（役職）	産業振興課　観光係長
郵便番号	９８６－２２６５
所在地	宮城県牡鹿郡女川町女川一丁目１番地１
電話番号（直通）	０２２５－５４－３１３１
ＦＡＸ番号	０２２５－５３－５４８３
Ｅ－ｍａｉｌ	kanko@town.onagawa.lg.jp

（登録）【地域連携DMO】一般社団法人石巻圏観光推進機構

様式2

記入日：　令和　7年　7月　29日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
宮城県石巻市、東松島市、女川町
【設立時期】 2017年4月3日
【設立経緯】
区域内に観光協会があるが、役割分担等をした上でDMO新設
【代表者】 後藤　宗徳
【マーケティング責任者（CMO）】 山内　千代文
【財務責任者（CFO）】 斉藤　雄一郎
【職員数】 ４人（常勤４人（正職員４人）
【主な収入】
　収益事業6,744千円、負担金・補助金（国・市町）26,365千円、受託事業4,107千円、その他14千円　（2024年度決算）
【総支出】
　事業費28,268千円、一般管理費8,776千円　（2024年度決算）
【連携する主な事業者】
石巻市、東松島市　女川町、宮城県東部地方振興事務所、石巻観光協会、東松島観光物産公社、女川町観光協会、東北学院大学、石巻専修大学、東日本旅客鉄道㈱ 東北本部 石巻駅、㈱ミヤコーバス 石巻営業所、宮城県タクシー協会石巻支部、石巻商工会議所

KPI（実績・目標）

※（　）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度	2025（R7）年度	2026（R8）年度	2027（R9）年度
旅行消費額（百万円）	目標	—（—）	56,175（—）	73,000（140）	74,000（150）	75,000（150）	75,000（150）
	実績	56,293（—）	72,181（131）	54,727（110）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	300（—）	350（—）	370（4）	390（4）	400（4）	400（5）
	実績	311（1）	353（3）	379（4）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	70（—）	70（— ）	70（85）	70（85）	85（85）	85（85）
	実績	52（—）	67（84）	83（95）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	62（—）	65（—）	75（ —）	75（10）	55（11）	60（12）
	実績	50（—）	51（—）	54（ —）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
（国内）：①首都圏、北関東を中心とした、
　　20～30代のカップル・友人　②仙台圏
（海外）：台湾、欧米豪、タイ、ベトナム

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
（国内）：観光動態調査などにより再来訪意向につながる要因を分析、ターゲット層に訴求するコンテンツを磨き上げる。（イベント、防災観光等）
（海外）：唯一性の高いスポットである離島（金華山、田代島）への誘客を訴求できるコンテンツを造成、磨き上げ、OTA、インバウンドベンチャーに対し、BtoBプロモーションを展開する。

【観光地域づくりのコンセプト】
海に育まれた豊かな文化と生業が織りなす変わらない懐かしさと　いつも新しい驚き・発見がここにある。

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
◆サイクルツーリズムのブランディング
・航空自衛隊松島基地の滑走路を走行する「松島基地ランウェイライド」（写真）を実施

◆みちのく潮風トレイルのセクションハイクツアーを企画、モニターツアーを実施
・離島の金華山を含める圏域内のみちのく潮風トレイルコースを巡る1泊2日のモニターツアー（写真）を実施

【受入環境整備】
◆石巻エリアファンクラブの設立
◆サイクルマップ、ステーションの設置

【情報発信・プロモーション】
◆公式Web、SNSによる情報発信
◆学校宛に定期的なニュースレター送付
・教育旅行誘致のため、圏域の教育旅行の情報が欲しい学校に定期的に旬の情報を提供

【その他】
◆インバウンドの取組
・地域事業者向けのインバウンド受入れ研修会を実施
・SAVOR　JAPANの認定（ほや雑煮、石巻せり鍋）